



干支絵馬と絵馬御守

今春元旦、当神社御鎮座 1270 年を奉祝する記念事業を発願致しました。詳細は 4～5 頁をご覧ください。



発行所 No.297
箱根神社社務所
神奈川県箱根町元箱根 80-1
〒250-0522 電話 0460 83 7123



令和七年の新春を迎え 聖壽の万歳と国運の隆昌を言祝ぎ 尊家ご一統様のご清福をお祈り申し上げます

皆様には、御守護いただく神々の新しい御神札を家の神棚に祀り、年神様から新しい歳（生命力）を授けられ、清々しい新年をお迎える事と存じます。

神棚として初詣の神々の御前に感謝の真心を捧げ、周囲の人々の幸福を祈念し、ご自身ご家族への変わらぬ御加護の祈願と共に「新たな一年の計を成就するため自分が為すべき事柄」を誓願され、令和七年「乙巳年」の新しい一歩を踏み出された事でありましょう。

めでたく迎えた「乙巳年」は「成長と結実の年」。開運の要点は「自身を律して着実に進む」処と存じます。

十干の「乙」は陰性の木を示し、草木の根がしなやかに伸び進み広がりに行く状態を表し、上伸力と献身性、柔軟性や協調性を宿しています。これにより、今は発展途上なれど、周囲との調和を保ちながら自身の目標に向かって進む力が得られるものと存じます。

十二支「巳」は、陰性の火を示し、草木が最大限まで成長した状態を意味します。火は、激しく燃え上る性から、物事に熱心に取組む特徴を持ち、画期的な発見、創造が期待されます。反面、最大限まで成長し繁茂の極に達して、その成

長が止まると、心が乱れて執着や嫉妬等に動き出し、猜疑心やねたみ等が湧き上がり、人間関係に悪影響を及ぼす作用が表れて来ますので、常に心の乱れを抑え自身を律して進む注意が必要です。

この、「乙の木」と「巳の火」の関係は、木生火と云う相生の関係です。相生とは、相互に助け合ったり、双方の作用で新たに生み出したりする良い関係性を申します。

よって、「乙巳」の年は、双方が良好に働くと、成長と結実の年となり、再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく一年になると考えられます。しかし、前述の発展途上、成長停止の意も含みまますので、すぐに結果が出なくても、自身を律して、焦らず粘り強く取り組む姿勢が大事です。この場合、自身を律し、周囲と心を合わせて着実に前進することで、最終的には望む結果に近づく事が出来る佳年を創り出せるものと存じます。

皆様方には迎えた令和七年乙巳年も、天照大御神、箱根大神、九頭龍神を始めとする八百萬の神々の大きな御加護のもと変わる事無くご自身の生業への精進を続けられ、運氣に添った稔り多き年をお進み下さいますよう、衷心より祈念申し上げます。（宮司 小澤修二）